

日本海西部アカガレイ（ズワイガニ）資源回復計画の概要

(公表：H14年9月6日)

1 資源の現状と回復の必要性

- アカガレイは、ズワイガニとともに日本海西部海域（石川県～島根県）における重要魚種。
- 日本海西部海域におけるアカガレイの近年（1990年代以降）の漁獲量は、沖底で1,000トン台であり1980年頃の8,000トン程度に比べ低水準。
- アカガレイの漁場は、ズワイガニの漁場と広く重複しており、両種ともに沖合底びき網漁業、小型機船底びき網漁業の主要な対象種であることから、表裏一体の資源管理対策が必要。

2 資源回復の目標（対象魚種：アカガレイ）

アカガレイについて、計画開始年（基準年：H14年）の資源水準を100とした場合、10年後（H23年）に115（漁獲量で110）とする。

3 対象漁業

沖合底びき網漁業、小型機船底びき網漁業

4 計画期間

H14年度～H23年度

5 資源回復のために講じる措置

- (1) 漁獲努力量の削減措置
 - 保護区の拡大（沖合底びき網、小型底びき網）
 - 保護礁の追加設置（沖合底びき網、小型底びき網）
 - 改良漁具の導入（沖合底びき網、小型底びき網）
 - 休漁（沖合底びき網、小型底びき網）
 - 減船（沖合底びき網）
- (2) 資源の積極的培養措置
 - ・特になし
- (3) 漁場環境の保全措置
 - ・海底耕耘・清掃

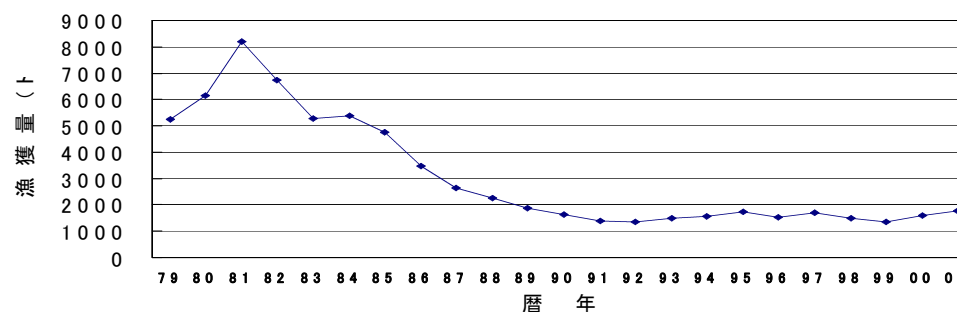
日本海におけるアカガレイの分布



日本海におけるズワイガニの分布



日本海西部における沖合底びき網漁業による
あかがれいの漁獲量の推移



日本海A海域におけるズワイガニ漁獲量の推移

